

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	日本女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ニホンジョシダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310103439
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	ボランティア実習
	学部・研究科等名	家政学部児童学科
	担当教職員名・役職	澤田美砂子：准教授、羽中田彩記子：特任教授、辻杉子：非常勤講師
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	16
	受入企業等数	14
	受入企業等名	埼玉県 小百合幼稚園、埼玉県 浦和つくし幼稚園、千葉県 塩浜幼稚園、東京都 福寿院幼稚園、神奈川県 あざみ野白ゆり幼稚園、神奈川県 柿の実幼稚園、神奈川県 六会幼稚園、新宿区立花園幼稚園、文京区立青柳幼稚園、文京区立小日向台町幼稚園、文京区立青柳保育園、文京区立目白白台保育園、日本女子大学附属豊明幼稚園、さくらナースリー
インターンシップの分類	1.長期（概ね1か月以上）インターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類（記述欄）		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	長期間、保育・教育現場等に携わることを通して、子どもたちの発達や様相を理解し、必要となる援助や支援を学ぶ。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部3年次を対象に、主に授業期間中の60時間以上の実習を組み合わせた専門教育科目「ボランティア実習」として実施。2単位を付与する。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている

要素③		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
		2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
		3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	実習期間中に中間報告を設け、実習報告や、実習に対する助言及び指導を行っている。
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	全2回の事前学習の中で、インターンシップの趣旨や目的の理解を深め、参加にあたっての心構えを学ぶ。また、事前に学生には活動予定表を提出させる。	
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	インターンシップ後にはレポートを提出させる。また、パワーポイントを用いた報告も行う。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ中に、指導教員が実習先に赴き、学生や実習先指導担当者と面談を行っている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
4-3.上記回答内容に関する詳細	事前に計画書、事後に報告書を提出させ、フィードバックを行っている。また、授業科目として到達目標を明確に定め、成績評価に反映させている。	

要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	同一実習先にて計60時間以上の実習を課している
	5-3.上記回答内容に関する詳細	事前学習全2回＋実習60時間以上（途中中間報告あり）＋事後学習2回
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容		
6-3.上記回答内容に関する詳細	実習前に、インターンシップの意義や目的を受入先にご説明したうえで、受入いただいている。また、実習中も指導教員が受入先指導担当者と面談する機会を設けている。	
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www6.iwu.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml	
問い合わせ先	大学等名	日本女子大学
	担当部署名	キャリア支援課
	担当者役職名	
	担当者氏名	柿澤実紀
	電話番号	03-5981-3344
	メールアドレス	intern@atlas.iwu.ac.jp